

ミトジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼ

Cat. No. EXWM-3162

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は二重特異的なプロテインキナーゼであり、活性化にはミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼキナーゼ (MAPKKK) が必要です。これはEC 2.7.11.24、ミトゲン活性化プロテインキナーゼの活性化に必要です。RafによるMEK1のリン酸化は、2つのセリン残基のリン酸化を含みます。ミトゲン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) シグナル伝達経路は、細胞調節の最も広範なメカニズムの一つです。哺乳類のMAPK経路は、ホルモン（例：インスリンや成長ホルモン）、ミトゲン（例：上皮成長因子や血小板由来成長因子）、血管作動ペプチド（例：アンジオテンシン-IIやエンドセリン）、腫瘍壊死因子 (TNF) ファミリーの炎症性サイトカイン、浸透性ショック、放射線、虚血損傷などの環境ストレスを含む多様な刺激によって引き起こされることがあります。

別名 MAPキナーゼキナーゼ; MAPキナーゼキナーゼ4; MAPキナーゼキナーゼ7; MAPキナーゼまたはERKキナーゼ; MAP2K; MAPKK; MAPKK1; MEK; MEK1; MEK2; MKK; MKK2; MKK4; MKK6; MKK7; STK27

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.12.2

反応 $\text{ATP} + \text{タンパク質} = \text{ADP} + \text{リン酸化タンパク質}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。